

1. 水戸市 2. 高崎市 3. 前橋市 4. 宇都宮市

1. 鉄道の延伸と新駅の建設を行い、徒歩やバスを介さずに公園へ直接アクセス可能にすることで、交通の利便性の向上を図る。
2. 鉄道の線路を撤去して高速道路を整備し、自家用車や大型の観光バスが公園の入り口まで短時間で到達できるようにする。
3. 既存のバス路線をすべて廃止し、駅から公園までの移動手段を鉄道のみに限定することで、駅周辺の渋滞を解消する。
4. 阿字ヶ浦駅を大規模な物流拠点として再開発し、鉄道を貨物専用にすることで、周辺地域への物資輸送の効率化を目指す。

1. 90パーセント 2. 70パーセント 3. 50パーセント 4. 40パーセント

1. 東京大都市圏への人口集中にともない、教育や雇用の機会を求めて学生が集まるため、東京都心やその周辺に大学が多く立地している。
2. 交通網が未発達であり県境を越えた通学が困難なため、各県が独自に同規模の大学群を整備した結果、人口比に応じて差がついている。
3. 関東地方のすべての県で大学数を均等にするため、人口の少ない県ほど1校あたりの学生定員を増やすよう法律で義務付けられている。
4. 北関東の各県は農業や工業に専念する地域として区分されているため、大学などの教育機関を設置することが制限されている。

1. 甲州街道 2. 日光街道 3. 中山道 4. 東海道

1. 滋賀県 2. 栃木県 3. 群馬県 4. 福島県

1. 三浦半島 2. 紀伊半島 3. 能登半島 4. 房総半島

1. 人口が密集する巨大な消費地が近く、輸送コストを抑えて新鮮なうちに販売できるため

2. 温暖な気候を利用して、他の地域よりも収穫時期を早める工夫をしているため

3. 冷涼な気候を利用して、夏でも高原野菜などの生産を大規模に行っているため

4. 広大な土地を利用して、機械化による大規模な畑作や畜産を効率的に行っているため

1. 周辺県の産業が衰退したことにより、すべての住民が東京都内に移住して夜間人口が急増したため
2. 都心部の地価高騰などの影響で郊外に住宅地（ベッドタウン）が形成され、職住分離が進んだため
3. 東京都の夜間人口が周辺県に比べて急激に減少したことで、相対的に昼間の活動人口が目立つようになったため
4. 都心部に広大な農業用地が確保され、周辺県から季節労働者が大量に流入するようになったため

(2017年 山口県公立入試 類似)

1. 原料となる木材やパルプの輸入拠点となる大規模な港湾が、この地域にのみ集中しているため

2. 労働賃金が他の工業地域に比べて非常に低く、労働集約的な産業の維持に適しているため

3. 政治や経済の中核である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため

4. 内陸部に広大な土地が確保されており、大規模な工場の建設が他の地域よりも容易であったため

1. 周辺三県は、東京都に比べて出生 2. 東京都に住む多くの人々が、工場 3. 東京都では夜間の観光客が非常に 4. 周辺三県に住む多くの人々が、

1. 周辺三県は、東京都に比べて出生率が非常に高いため、居住者を表す夜間人口が昼間人口を上回っている

2. 東京都に住む多くの人々が、工場や学校が集まる周辺三県へ日中に移動しているため、周辺三県の夜間人口が多くなっている

3. 東京都では夜間の観光客が非常に多いため、統計上の夜間人口が昼間人口よりも少なくなっている

4. 周辺三県に住む多くの人々が、通勤や通学のために東京都へ移動しているため、東京都の昼間人口が多くなっている

1. 一戸あたりの農地が非常に広い
ため、生産の総額が大きくなっている。

2. 農業に従事する人口が極めて多く、
労働力に頼った生産を行っている。

3. 土地利用の効率が高く、限られた
面積から多くの収益を上げている。

4. 他県に比べて農地の価格が安い
ため、新規就農者が増加している。

1. 適地適作としての酪農 2. 輸出を目的とした商業的農業 3. 大消費地向けの近郊農業 4. 山地を利用した移牧